

ファンダメンタル分析から見た とうもろこし市場のポイント

サンワード貿易株式会社
コンシェルジュデスク
植村 和久

2016年1月12日放送分

この資料は投資判断の参考になる情報提供を目的とするもので、投資勧誘を目的としたものではありません。内容についても、信頼すべきと判断した情報に基づいておりますが、その正確性を保証するものではありません。投資の最終判断は投資家自身でなさいますようお願いいたします。当資料の一切の権利はサンワード貿易(株)に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

1. とうもろこしの需給状況

生産量	1位	米国	(35%)
	2位	中国	(22%)
	3位	ブラジル	(8%)
消費量	1位	米国	(31%)
	2位	中国	(22%)
	3位	EU	(8%)

(2013/14年度 USDA発表)

2. 米国の需給

- ▶ 天候相場 4月から9月 供給主導
- ▶ 需給相場 10月から3月 在庫主導

3. 天候相場

(4月～9月)

▶ とうもろこしの生産量

「収穫面積 × 単収」

▶ 収穫面積

作付時(4月下旬から5月中旬)の天候
競合農産物との価格関係

▶ 単収

受粉期(7月中旬から8月初旬)の天候

4. 需給相場

(10月～3月)

- ▶ 飼料 家畜の飼養頭数、食肉生産量
- ▶ エタノール 原油価格の動向
- ▶ 輸出 米国：世界最大の輸出国
- ▶ 在庫 期末在庫率(15%～20%が適正水準)

5. 天候のポイント

- ▶ 降水量 6月から8月で300ミリメートル
 受粉期の1週間とその前後1週間の
 計3週間は特に重要
 1日10ミリメートル
- ▶ 積算温度 GDDの積算が2500GDD～3000GDD

$$GDD = \frac{\text{最高華氏} + \text{最低華氏}}{2} - 50$$

6. 現在のチャートは？



7. 日本のおもろこし価格

- ▶ シカゴ価格
- ▶ 為替
- ▶ フレート(海上運賃)